

○平成 30 年度事業内容

① 総会

平成 30 年度総会

日時：平成 30 年 6 月 3 日（日）午後 2 時～

場所：和泉市役所 3 号館 3 階 市議会委員会室

議題 1. 平成 29 年度事業報告

2. 平成 30 年度事業計画

② 企画運営会議

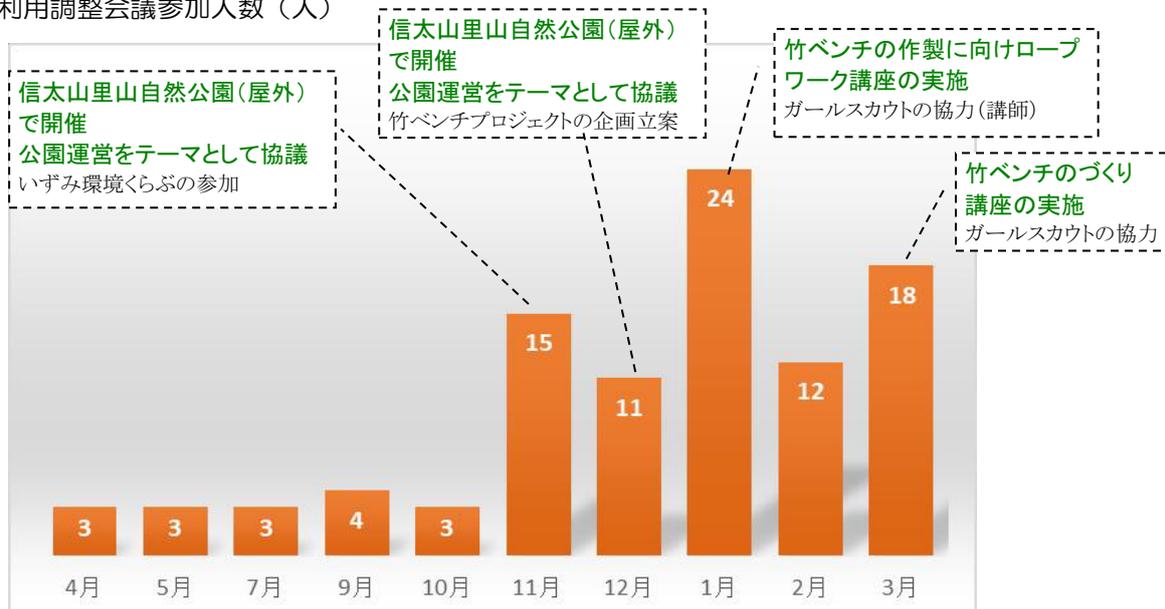
回	日時/場所	主な議題
第 1 回	平成 30 年 10 月 1 日（金） 16：00～18：30 和泉市コミュニティ センター 1F 中集会室	○議事 (1) 上半期の活動報告 ※台風 21 号の被害について 1) 環境保全活動 2) 信太山里山講座 3) 自然観察会 4) 湿地調査 (2) 都市計画決定について (3) 広報について (4) 管理運営に向けて (5) 市道信太 5 号線の計画について
第 2 回	平成 31 年 3 月 15 日（金） 10：00～12：00 和泉市立人権文化 センター 3F 会議室	○議事 協議事項 (1) 下半期の活動報告について 1) 環境保全活動等について ① 環境保全活動 ② 利用調整会議 ③ 信太山里山講座 ④ 自然観察会 ⑤ 湿地調査 ⑥ ネザサ根茎除去実験 ⑦ 平成 30 年度 市が発注した草刈、樹木剪定 2) 利用促進のための取組（広報）について ① 和泉市商工まつり・都市緑化フェア会場における P R ② 教育委員会および企業に対するヒアリング (2) 平成 31 年度の活動計画(案)について (3) 運営体制の枠組みについて 報告事項 (1) 市道信太 5 号線に係る計画について (2) 都市計画決定の進捗状況について

③ 利用調整会議

参加人数、団体、場所および内容については以下のとおりである。(活動時間 ;13:00~15:00)

実施日	実施場所	参加人数	団体	内容
H30.4.21(土)	信太の森 ふるさと館	3	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館 クラブ	今年度のスケジュール、保全活動、里山講座について 目標植生について
H30.5.6(日)	信太山丘陵 市有地	3	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館 クラブ	目標植生検討に向けた現地調査
H30.7.8(日)	信太の森 ふるさと館	3	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館 クラブ	今後の保全活動について 信太5号線の計画について
H30.9.2(日)	人権文化 センター	4	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館 クラブ	今後の保全活動について 都市計画決定手続きについて 開園に向けた今年度の取組について 信太5号線の計画について
H30.10.7(日)	信太の森 ふるさと館	3	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館 クラブ	今後の保全活動について 市民アンケートの実施に向けて
H30.11.3(日)	信太山丘陵 市有地	15	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館 クラブ ・いずみ環境くらぶ	今後の保全活動について 市民アンケート報告 竹ベンチプロジェクト企画 (公園利用促進企画)
H30.12.3(日)	信太山丘陵 市有地	11	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館 クラ	今後の保全活動について 竹ベンチプロジェクト企画(公園利用促進企画)
H31.1.6(日)	信太の森 ふるさと館	24	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館 クラブ ・ガールスカウト	今後の保全活動について 信太5号線 竹ベンチプロジェクト企画 (ロープワーク教室講師:ガールスカウト)
H31.2.3(日)	信太山丘陵 市有地	12	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館 クラブ	竹ベンチプロジェクト試作 次回の保全活動計画
H31.3.3(日)	信太山丘陵 市有地	18	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館 クラブ ・ガールスカウト	次回の保全活動計画 竹ベンチプロジェクト試作

○利用調整会議参加人数(人)

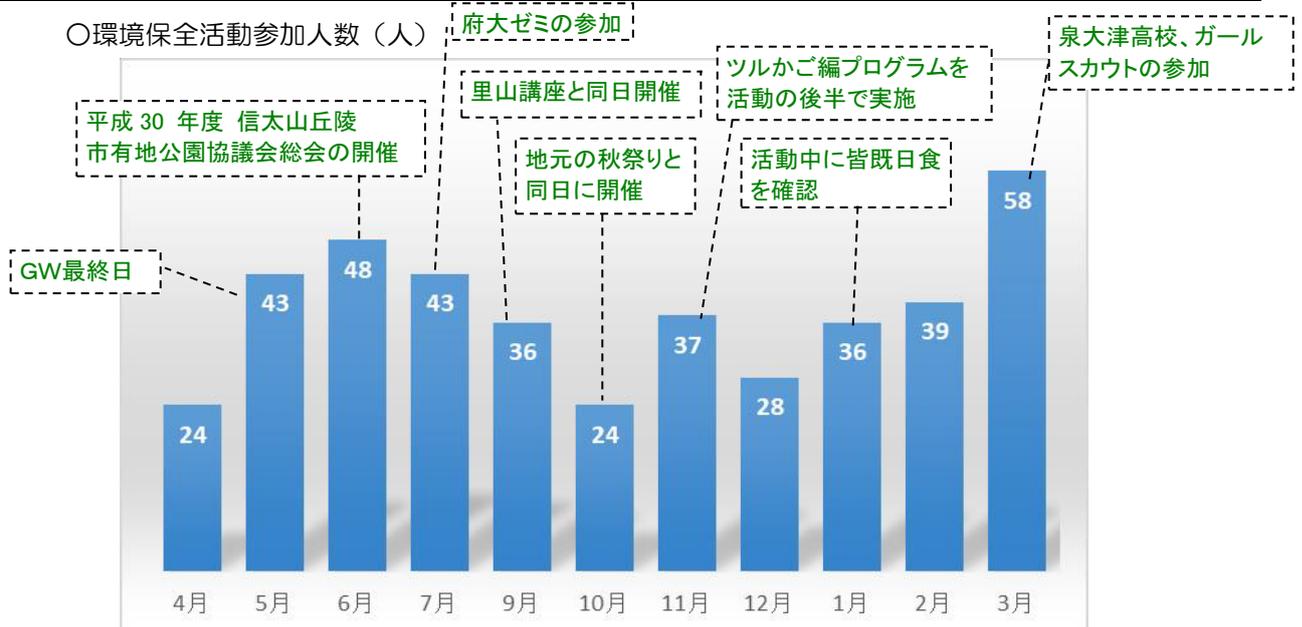


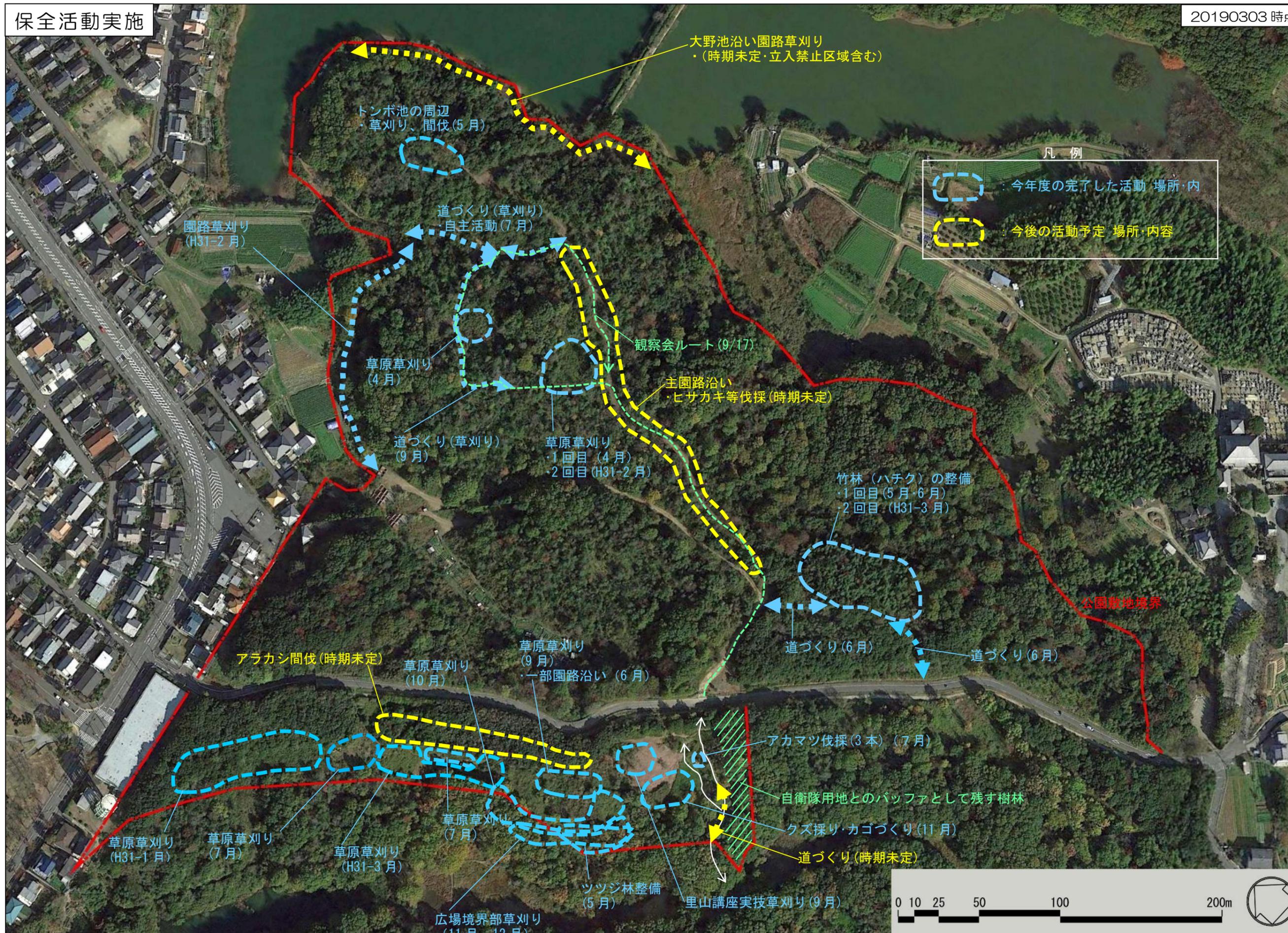
④ 環境保全活動

参加人数、団体、活動場所および活動内容については以下のとおりである。(時間;9:00~12:00)

実施日	活動名称	参加人数	団体	活動場所および活動内容
30.4.21(土)	第30回 保全活動	24	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ	①尾根沿い草原エリアのネザサ刈などの草刈
30.5.6(日)	第31回 保全活動	43	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・いずみ環境くらぶ	①北側の尾根先の広場における ビオトープ池づくり ②南西側のツツジ林での剪定と下 草刈り ③竹林エリアでのハチクの間伐
30.6.3(日)	第32回 保全活動	48	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・いずみ環境くらぶ ・学生(泉大津高校等)	①竹林エリアでのハチクの間伐 ②南西側草原エリアの草刈り及び外 来種の除去
30.7.8(日)	第33回 保全活動	43	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・学生(泉大津高校、大阪府立大学)	①南西側草原エリアのネザサ刈な どの草刈
30.9.2(日)	第34回 保全活動	36	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・里山講座受講生	①南西側草原エリアのネザサ刈な どの草刈
30.10.7(日)	第35回 保全活動	24	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・学生(泉大津高校等)	①南西側草原エリアのネザサ刈な どの草刈
30.11.4(日)	第36回 保全活動	37	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・いずみ環境くらぶ ・学生(泉大津高校等)	①南西側草原エリアのネザサ刈な どの草刈など ②刈り取ったクズを使ったツルか ご編プログラムの実施
30.12.2(日)	第37回 保全活動	28	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・学生(泉大津高校等)	①南西側草原エリアのネザサ刈な どの草刈など ②南西側ツツジ林エリアにおける 雑木の剪定
31.1.6(日)	第38回 保全活動	36	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・学生	①南西側草原エリアのネザサ刈な どの草刈
31.2.3(日)	第39回 保全活動	39	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・学生(泉大津高校等)	①尾根沿い草原エリアのネザサ刈 などの草刈 ②園路沿いの草刈、実験林 エリアの草刈
31.3.3(日)	第40回 保全活動	58	・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・学生(泉大津高校等) ・ガールスカウト	①竹林エリアにおけるハチクの伐 採 ②南西側草原エリアにおけるネ ザサ等の草刈

○環境保全活動参加人数(人)





※市道5号線植栽管理（草刈、樹木剪定）

- ・草刈：市道信太5号線北側沿線及び鶴山台4丁目隣接部の草刈
- ・樹木剪定：信太5号線に越境している樹木枝の剪定（34本）

樹木剪定：①
（施工前）



（施工後）



樹木剪定：②
（施工前）



（施工後）



樹木剪定：③
(施工前)



(施工後)



樹木剪定：④
(施工前)



(施工後)



⑤ 信太山里山講座

1) スケジュール

	日時	テーマとねらい(内容等)	講師
第1回講座	7月21日 (土) 13:00~ 15:00	<p><ふるさと館></p> <p>開会オリエンテーション等【15分】 開講式、挨拶、趣旨説明</p> <p>公園としての信太山丘陵市有地のテーマ・理念を共有する【60分】 ・公園として保全・活用する信太山丘陵市有地の経緯や公園の理念・方針などについて理解してもらう。 ・信太山丘陵市有地の里山環境の概要について理解し、公園づくりのためには継続して人の手を入れる必要がある</p> <p>保全活動のための湿地とふれあう際の心がけ【45分】 ・湿原性の植物など貴重な植物が生育する信太山丘陵市有地において保全に関わるマナーや注意すべきポイントを理解してもらう。 ・信太山丘陵の地形や地質などを昔(昭和50年代)の映像や写真とともに把握し、現在の植物の生育環境について、理解してもらう。</p>	<p>(進行:事務局等)</p> <p>藤原 宣夫氏 大阪府立大学</p> <p>田丸 八郎氏 信太の森 FAN クラブ</p>
第2回講座	8月5日 (日) 10:00~ 15:00	<p>午前:里山活動先進事例見学 ・先進的に里山活動を行っている事例を見学し、公園づくりの技術やノウハウを学ぶ。</p> <p>~休憩~</p> <p>午後:事例見学先での講座 活動内容の講義を聞き、公園づくりの具体的な活動について学ぶ。</p>	<p>候補地 ◎泉佐野丘陵緑地</p>
第3回講座	9月2日 (日) 10:00~ 12:00	<p>※現地</p> <p>公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ(実践)【60分】 ・公園づくりのための具体的な作業を体験してもらうことで、活動の意味や安全確保のポイントなどを理解してもらう。 ・活動の実践及び既存会員との交流を図る。</p> <p>自然環境保全活動の体験【60分】 ・実際に自然環境保全活動に触れて、公園協議会の活動を知ってもらう。 ・活動の実践及び既存会員との交流を図る。</p>	<p>三輪 健一郎氏 いずみの国の自然館 クラブ</p>
第4回講座	10月20日 (土) 13:00~ 15:00	<p>※午前中:緑の自然観察会を開催</p> <p><ふるさと館></p> <p>草原を守り・楽しみ・引き継ぐ仲間を増やす【90分】 ・丘陵地における自然・文化・歴史の特徴を理解し、公園づくりに活かしていく。 ・二次林・二次草原の植生や管理手法について学ぶ。</p> <p>閉会オリエンテーション等【30分】 修了式、意見交換、ほか</p>	<p>橋本 佳延氏</p> <p>兵庫県立 人と自然の博物館</p> <p>(進行:事務局等)</p>

2) 信太山里山講座チラシ

信太山里山講座について

“信太山丘陵市有地”は、市民の憩いの場としてはもちろん、自然体験や環境学習の場として利用できる公園を目指して公民協働で整備をしていく予定です。そこで今回、公園づくりのパートナーを募集します。里山講座を受講いただき、一緒に公園づくりに参加しませんか？

開催期間

平成30年7月～10月

開催場所

信太の森ふるさと館、信太山丘陵市有地

応募条件

- ・信太山丘陵市有地の理念・取組に賛同していただける方
- ・原則全課程受講いただける方
※やむを得ず欠席された場合は、補講等のご案内をさせていただきます。



スケジュールと講座内容

第1回 7/21(土) 13:00～15:00

- ◆開会オリエンテーション等
場所：信太の森ふるさと館
- ◆公園としての信太山丘陵市有地のテーマ・理念を共有する
講師：藤原 宣夫（大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻 教授）
場所：信太の森ふるさと館
- ◆保全活動のための湿地とふれあう際の心がけ
講師：田丸 八郎（NPO 法人信太の森FANクラブ）
場所：信太の森ふるさと館

第2回 8/5(日) 9:00～15:00

- ◆里山活動事例見学 ※荒天時中止
講師：泉佐野丘陵緑地パーククラブ
場所：大阪府営公園泉佐野丘陵緑地
- ◆泉佐野丘陵緑地パーククラブの活動を学ぶ
講師：泉佐野丘陵緑地パーククラブ
場所：大阪府営公園泉佐野丘陵緑地パークセンター
※持ち物など 水分補給ができるもの
帽子、動きやすい服装（長袖、長ズボン）、雨具

第3回 9/2(日) 10:00～12:00

- ◆公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ（実践）
講師：三輪 健一郎（NPO 法人いずみの国自然館クラブ）
場所：信太山丘陵市有地（雨天時は信太の森ふるさと館）

第4回 10/20(土) 13:00～15:00

- ◆草原を守り・楽しみ・引き継ぐ仲間を増やす
講師：橋本 佳延（兵庫県立 人と自然の博物館）
場所：信太の森ふるさと館
- ◆閉会オリエンテーション等
場所：信太の森ふるさと館

※日程、会場、講座内容、講師等は都合により変更する場合があります。

3) 信太山里山講座の実施報告

(1) 第1回里山講座

- 実施日：平成30年7月21日(土)
- 時間：13:00～15:00
- 場所：信太の森ふるさと館
- 受講生：参加者17名（一般参加5名、既会員12名）

●講師：藤原 宣夫氏

(大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻 教授)

●テーマ：「公園としての信太山丘陵市有地のテーマ・理念を共有する」

公園として、保全・活用する信太山丘陵市有地の経緯や公園の理念・方針、信太山の里山環境の紹介や保全上の問題等について説明があった。



公園の理念について説明する藤原氏



昭和50年代の現地

●講師：田丸 八郎氏 (NPO 法人信太の森 FAN クラブ)

●テーマ：「保全活動のための湿地とふれあう際の心がけ」

田丸氏がこれまでに長年保全活動に取り組んできた経験を踏まえ、希少な湿地の特徴や取り扱い方、活動の際に気をつけること等について説明があった。



信太山丘陵の湿地について講義する田丸氏



惣ヶ池湿地の観察会

(2) 第2回里山講座

○実施日：平成30年8月5日(日)

○時間：10:00～14:10

○場所：大阪府泉佐野丘陵緑地

○受講生：参加者24名（一般参加6名、既会員18名）

●講師：土橋 一也氏（大阪府岸和田土木事務所）

●テーマ：「里山活動事例見学」

現地を巡りながら、各ゾーンで異なる里山の維持管理の方法や、イベント等での活用について説明があった。



土橋氏による園内の概要説明



竹林管理の説明

●講師：那須 利之氏（泉佐野丘陵緑地パーククラブ代表）

●テーマ：「泉佐野丘陵緑地パーククラブの活動を学ぶ」

当初の計画から段階を踏んで進められてきた活動の変遷について説明があった。

また、参加者からの質問により、管理運営の体制についても説明があった。



那須氏によるパーククラブの体制の説明



森の館での講義

第3回里山講座

- 実施日：平成30年9月2日(日)
- 時間：10:00～12:00
- 場所：信太山丘陵市有地南西側草原エリア
- 受講生：参加者9名（一般参加4名、既会員5名）

●講師：三輪 健一郎氏（NPO 法人いずみの国自然館クラブ）

●テーマ：「公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ（実践）」

器具や機械の安全な使い方についての説明を行い、その後、参加者が実際に刈払機を使う体験を行った。



刈払機を体験する受講生



講義後は環境保全活動に合流

第4回里山講座

- 実施日：平成30年10月20日(土)
- 時間：13:00～15:00
- 場所：信太の森ふるさと館
- 受講生：参加者9名（一般参加4名、既会員5名）

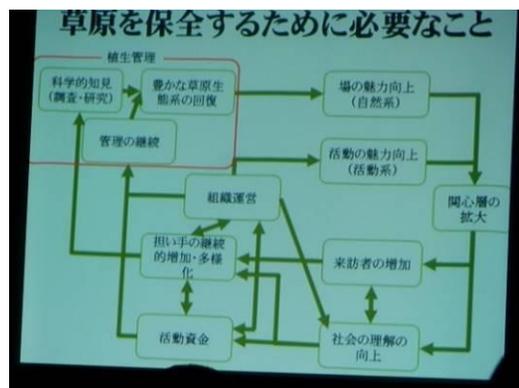
●講師：橋本 佳延氏（兵庫県立 人と自然の博物館）

●テーマ：『草原を守り・楽しみ・引き継ぐ仲間を増やす』

『草原をエコミュージアムにそれができるところから協働を！』をテーマに活動を行っている東お多福山の活動事例を紹介いただき、草原を守り・楽しみ・引き継ぐ仲間を増やす秘訣について説明があった。



東お多福山の活動事例を紹介いただいた橋本先生



東お多福山の管理運営のしくみ

(2) 修了式

全講義終了後、藤原先生副会長より受講者 5 名に修了証が授与された。
なお、受講生の全員が協議会へ加入した。



公園協議会副会長から一人ひとり手渡しにて修了証を授与



公園協議会副会長の総評

⑥ 自然観察会

(1) 「緑の自然観察会」

<p>場所 信太山丘陵市有地、惣ヶ池湿地</p>	<p>日時 2018.9.17 (月・祝) 10:00~12:00</p>	<p>参加人数 合計 45 人 (一般参加者 27 人)</p>
<p>主催 信太山丘陵市有地公園協議会</p>	<p>講師 いずみの国の自然館クラブ (三輪 健一郎、林 泰孝) 信太の森FANクラブ (田丸 八郎)</p>	
<p>実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南西側草原エリアから散策をスタートし、惣ヶ池湿地周辺、市道東側の尾根筋沿いの道を観察した。 ・緑の自然観察会で確認された昆虫や植物の中で大阪府レッドリスト 2014 に指定されているものは以下の通りである。(リストは次頁以降に掲載) 昆虫：ニホンアカガエル (絶滅危惧Ⅱ類)、ヒメアカネ (準絶滅危惧) 植物：コバナノワレモコウ (絶滅危惧Ⅰ類)、コモウセンゴケ (準絶滅危惧) 		
<p>当日の確認された生き物と当日の様子</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>ニホンアカガエル(上) ニホンカナヘビ (下)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ウスバキトンボは赤色をしているから、アカトンボに似ています！ ウスバキトンボは、地面に対して垂直にとまります。アカトンボは、地面に対して垂直にとまります！</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ツユクサ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>キンミズヒキ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>オオカマキリとチョウセンカマキリは似ています！オオカマキリの羽の中は、こげ茶色なので、そこで見分けましょう。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>コバナノワレモコウ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>オトギリソウ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>キンミズヒキの名前は引き出物などに飾られている「水引」をたとえたものと言われています。</p> </div> </div>		

(2) 「生きもの観察会」カスミサンショウウオの卵のう調査

<p>場所 信太山丘陵市有地、惣ヶ池湿地</p>	<p>日時 2019. 2. 24 (月・祝) 10:00~12:00</p>	<p>参加人数 合計 77 人 (一般参加者 27 人)</p>
<p>主催 信太山丘陵市有地公園協議会、公益財団法人大阪みどりのトラスト協会</p>		
<p>講師 信太の森FANクラブ (田丸八郎)、いずみの国の自然館クラブ (三輪健一郎)</p>		
<p>実施概要 <ul style="list-style-type: none"> ・信太山丘陵市有地南西側草原エリアを散策後、隣接する惣ヶ池湿地においてカスミサンショウウオ (絶滅危惧Ⅰ類) の卵のうやニホンアカガエル (絶滅危惧Ⅱ類) の卵塊を調査した。(大阪府レッドリスト 2014 より) ※調査の結果、カスミサンショウウオの卵のうは未確認 </p>		
<p>当日の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>講師から落葉の裏に隠されていることが多いとの解説を受け、カスミサンショウウオの卵のうを探す参加者</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="199 1666 592 1765"> <p>湿地に隣接するスペースでクラフトコーナーを運営 (いずみの国の自然館クラブ)</p> </div> <div data-bbox="596 1666 1011 1765"> <p>自然の素材を活用したけん玉づくりを実施 (いずみの国の自然館クラブ)</p> </div> <div data-bbox="1016 1666 1385 1765"> <p>生き物のバッジがもらえる緑の募金(みどりのトラスト協会)</p> </div> </div>		

⑦ 湿地調査 (パワーポイントで説明)

⑧ ネザサ根茎除去実験

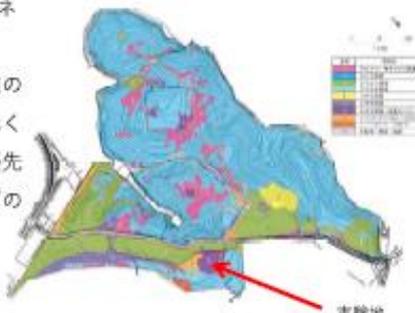
ネザサ群落の 地下茎除去実験

目的

- ネザサ群落内においてネザサの地下茎除去及び除去箇所への表土移設を実施
- 優占種や植物種数の変化を観察
- ネザサ群落から多様性のある二次草原への早期回復の可能性を検討

実験地の概要 (南西側草原エリア)

- 刈取り作業の開始前は高1mを超えるネザサが密集
- 現在は刈取り作業の継続により高さ低くなったネザサが優先
- また刈取り後クズの進入が目立つ



実験地

実験条件

- ① ネザサ等を重機で除去し、ふるいにかけて土壌を戻すエリア (5m×9m)
- ② ①の処理の後、埋土種子を含む表土を敷き出すエリア (5m×9m)
- ③ 草刈後、処理区との比較対象として何も手を加えないエリア (5m×9m)



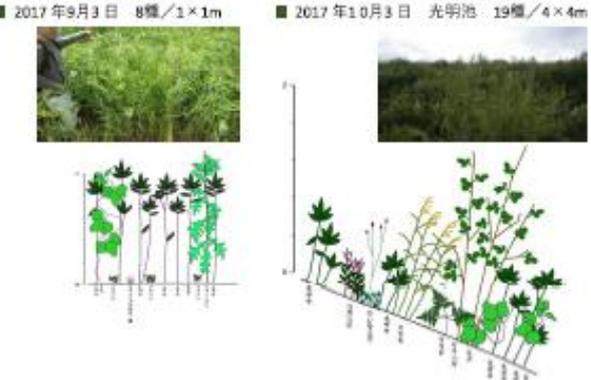
実験エリア設営

- 2018年1月22日 地下茎除去
- 2018年3月1日 表土採取 (光明池)
- 2018年3月4日 表土敷き出し
- 2018年3月4日 埋土種子確認 (大阪府大)



実験前および表土採取地の植生

- 2017年9月3日 8種/1×1m
- 2017年10月3日 光明池 19種/4×4m



埋土種子確認結果

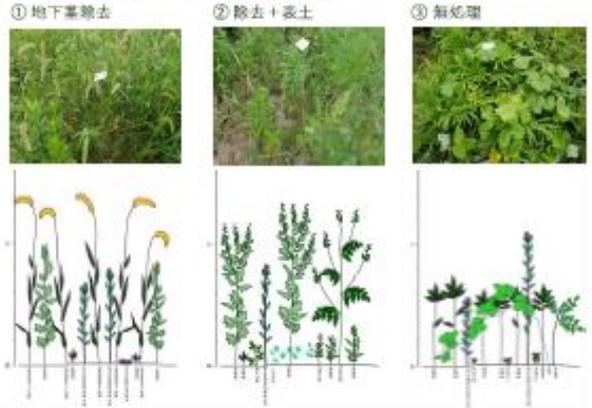
- 観察期間：3月4日～10月31日
- 発芽総数：13種・56個体／表土
12L / 9プランター

写真：6月11日 右からcom、pia-1~9、pia-M



- カヤツリグリス×28
- オオアレチノギク×3
- ノボロギク×2
- チチコグサモドキ×2
- タチツボスミレ×2
- ヒメムカシヨモギ×2
- セイタカアワダチソウ×1
- コガネビ×2
- ノテンツキ×2
- ススキ×1
- ナキリスゲ×9
- イネ科の1種×1
- 不明×1

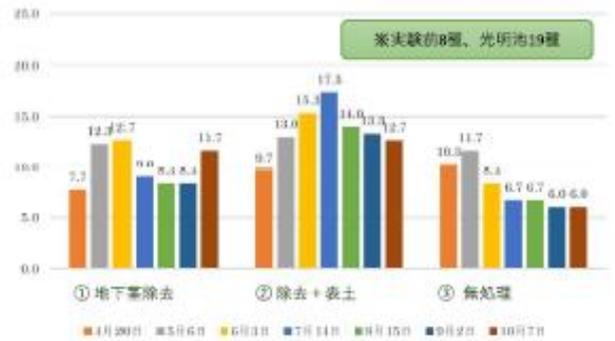
植生の変化 (8月15日)



優占種の推移

実験区	4月20日	5月16日	6月13日	7月14日	8月19日	9月2日	10月7日
① 地下茎除去	B-1 (日毛菊)	1-1 (日毛菊)	2-3 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	2-2 (日毛菊)	2-2 (日毛菊)
	B-2 (日毛菊)	1-1 (日毛菊)	2-3 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	4-2 (日毛菊)	4-3 (日毛菊)	4-2 (日毛菊)
	B-3 (日毛菊)	1-1 (日毛菊)	2-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	2-2 (日毛菊)
② 除去+表土	M-1 (日毛菊)	1-2 (日毛菊)	2-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)
	M-2 (日毛菊)	1-1 (日毛菊)	2-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	3-3 (日毛菊)
	M-3 (日毛菊)	1-1 (日毛菊)	2-2 (日毛菊)	2-2 (日毛菊)	2-2 (日毛菊)	3-2 (日毛菊)	2-2 (日毛菊)
③ 無処理	T-1 (ネザサ)	1-2 (ネザサ)	2-2 (日毛菊)	3-2 (ネザサ)	3-2 (スミズキ)	3-2 (スミズキ)	3-2 (ネザサ)
	T-2 (ネザサ)	2-2 (ネザサ)	3-3 (ネザサ)	4-4 (ネザサ)	4-4 (ネザサ)	5-5 (ネザサ)	4-4 (ネザサ)
	T-3 (ネザサ)	2-2 (ネザサ)	3-3 (ネザサ)	4-4 (ネザサ)	5-5 (ネザサ)	5-5 (ネザサ)	4-4 (ネザサ)

種数の変化



種構成の比較

- 除去+表土 (最大20種：2018年7月14日)

- アキノニ
- アキノノグシ
- アメリカオニアザミ
- アメリカセンダングサ
- アメリカアワロ
- オッタチカサバミ
- クズ
- コガネビ
- シロツメクサ
- セイタカアワダチソウ
- ネザサ
- ノイバラ
- ノグシ
- ハナイバナ
- ホソムギ
- メマツヨイグサ
- ムラサキエノコロ
- サハズソウ
- セブガラン
- ヨモギ

- 光明池 (19+11種：2017年10月5日)

- オトギリソウ
- クズ
- クリ
- クネザサ
- コガネビ
- ススキ
- ツボクサ
- トゲシバ
- ノイバラ
- ハマスゲ
- ヒヨドリバナ
- フジ
- ヘビイチゴ
- メドハギ
- ヤブソルアズキ
- ヤマナラシ
- ヤマハギ
- ワラビ
- ワレモコウ
- 寒コドラト真辺
- アリノトウグサ
- キキョウ
- サルトリイハフ
- ゼンマイ
- ツリギネニンジン
- ヒメヒラテソウ
- マルバアキグミ
- メガルカヤ
- ヤマツツジ
- ヤマセナギ
- ヨモギ

まとめ

- 地下茎の除去によりネザサは抑制される。
- 地下茎の除去により種数は増加する。ただし、外来種が多い。
- 表土の撒き出しの効果は小さい。

⑨ 広報活動

利用促進のための取組について：和泉市商工まつり・都市緑化フェアにおける PR

日 時：平成 30 年 11 月 10 日(土) 9:00～15:00

場 所：池上曽根史跡公園（和泉市商工まつり・都市緑化フェア会場）

1) 広報

○信太山丘陵里山自然公園の紹介・広報のために下記の展示を行った。

- ・信太山丘陵里山自然公園のプロジェクト及び活動紹介パネル
- ・信太山の四季の生き物紹介パネル、信太山のどんぐりなどの展示
- ・クズのツルカゴ、ススキのフクロウ、カヤネズミなど

○協議会メンバーによる、ススキを使ったクラフト体験を行った。

2) アンケート（対面式アンケート）

- ・信太山丘陵里山自然公園で、「現在行っていること」「開園後に実施を検討していること」から、やってみたいことを2項目選択してシールを貼ってもらう。（図1）

なお、シールを色分けすることによって年齢層が分類されるようにした。

- ・やってみたいことや気になることをヒアリングしてポストイットに記入する。（図2）



図 1 アンケート用紙（実物はA1 サイズ）



図 2 できることマップ（実物はA1 サイズ）

3) 回答者内訳

○回答総数：278 人

○男性 59 人（内 子育て世代男性 17 人）

女性 130 人（内 子育て世代女性 47 人）

子ども 男児 36 人、女児 53 人

<アンケートから見えてくる課題>

- ・一般市民に里山型自然公園としての環境保全活動が公園利用の主体であるという主旨を理解してもらうことが難しい。
- ・里山講座への興味を示す回答が少なく、講座参加者を増やすための方策を考える必要がある。
- ・交通の便が悪い、トイレと駐車場は用意して欲しいといった意見があった。
- ・環境保全活動や観察会等を知らないという意見が多く、広報の方法を検討する必要がある。

▼ ブース外観



他のブースと並ぶ信太山ブース(左)



パネルで信太山を紹介



ブース内はクラフト教室でにぎわう

▼ アンケート風景



アンケートを通じてPRを行う様子



公園協議会のPRを行う協議会会員



ブース前で声掛けを行う協議会会員

▼ クラフト体験



親子の参加でにぎわう体験教室



クラフトの説明を真剣に聞く子供たち



クラフトを終えて笑顔になる子供たち



公園協議会の本藤氏が丁寧に教える



ブース内はクラフト教室でにぎわう



信太山について解説する本藤氏

▼ 信太山のクズを使って作ったツルかごやススキで作ったカヤネズミの展示



保全活動の参加者でつくったツルかご



作る過程を展示



ススキで作ったカヤネズミ

⑨ 公園整備計画（パワーポイントで説明）

⑩ 都市計画決定：「信太山丘陵里山自然公園」として平成31年4月10日に告示された。

1. (仮称) 信太山丘陵里山自然公園の概要

種別：都市計画緑地

計画面積：約15.6ha

計画概要：現況樹林、草原、散策園路、あずまや、トイレ、活動拠点施設

計画地の現況：

和泉市の北部地域に広がる信太山丘陵一帯は、旧陸軍や自衛隊の演習場として開発を免れてきた結果、市街地の近くながら貴重な湿原や草地といった多様な自然環境が維持されてきた。

計画対象地はこうした貴重な湿原や草地が残され、カスミサンショウウオ（絶滅危惧Ⅰ類：大阪府）をはじめ、多数の希少な動植物の生息が確認されており、貴重な自然環境を形成している。



信太山丘陵一帯



計画地内に残る草地



カスミサンショウウオ（幼生）

2. 都市計画決定の目的

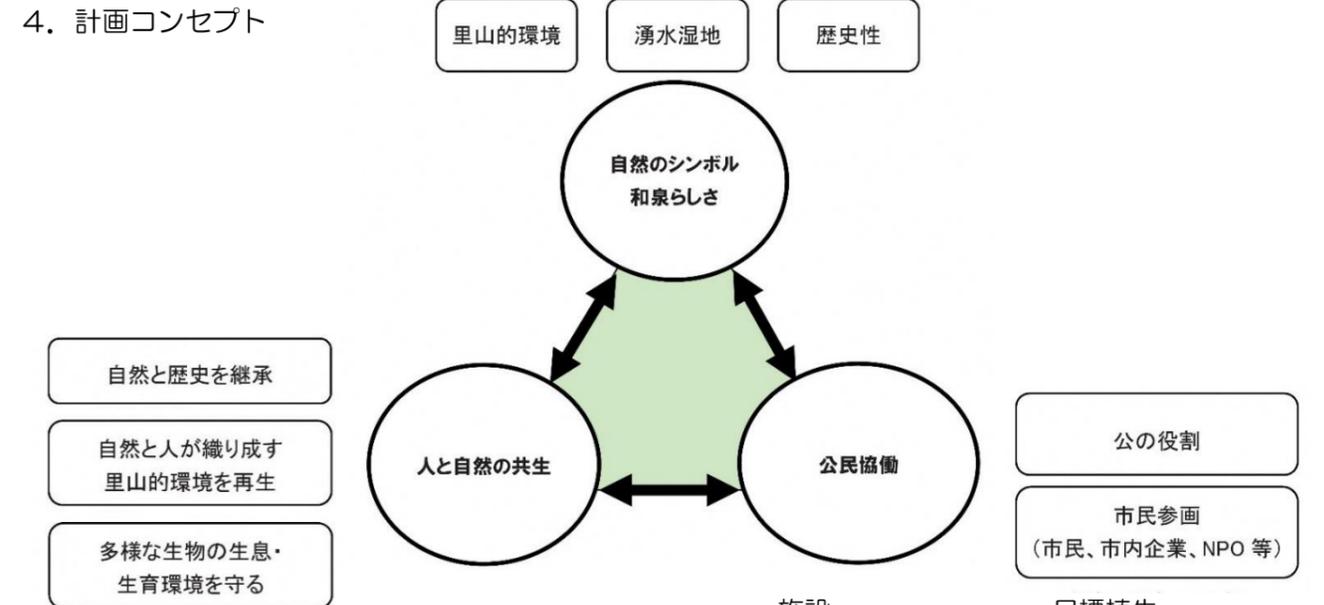
信太山丘陵周辺は、住宅市街地に隣接しながら貴重で多様な自然環境が維持されているというまれな特性を有し、次世代へ継承すべき市民の財産、地域のシンボルとなっている。この豊かな自然環境を保持し、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として活用していくため、また、次世代に豊かな自然環境を継承し、公民協働による活動を継続的かつ着実に推進するため、都市計画決定を行い、南部大阪都市計画緑地に追加変更するものです。

3. 計画方針

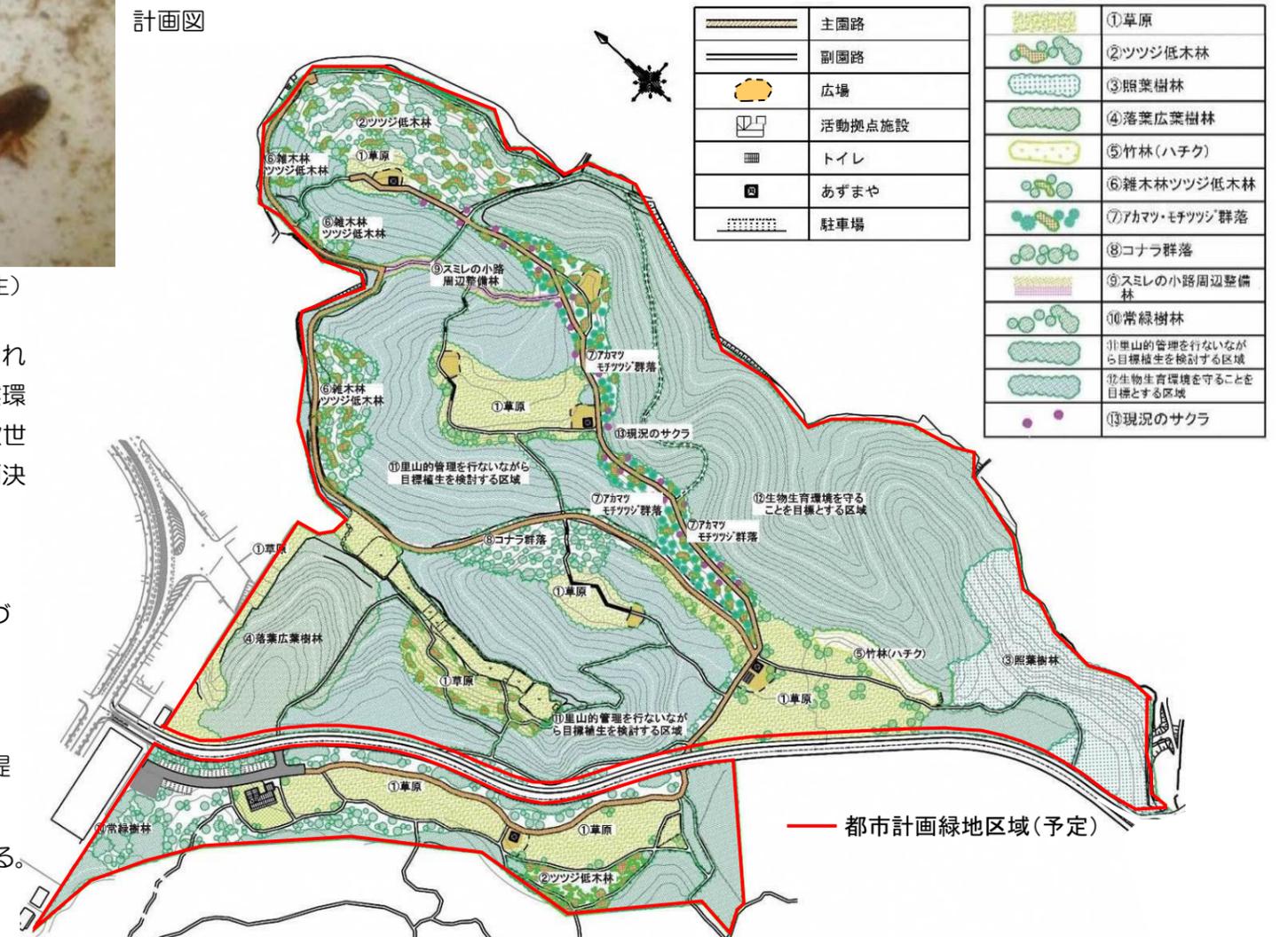
(仮称) 信太山丘陵里山自然公園は、貴重な自然環境を保全していくとともに、次のような公園づくりをめざして整備を進めていくものとする。

- 市民の憩いの場 … 散策や健康づくりを目的とした、市民の憩いの場とする。
- 自然体験の場 …… 保安全管理や自然観察会といった、自然を活用したさまざまなプログラムを提供する。
- 環境学習の場 …… 市内小学校等の自然体験等を受け入れることのできる、環境学習の場とする。

4. 計画コンセプト



計画図



施設

	主園路
	副園路
	広場
	活動拠点施設
	トイレ
	あずまや
	駐車場

目標植生

	①草原
	②ツツジ低木林
	③照葉樹林
	④落葉広葉樹林
	⑤竹林(ハチク)
	⑥雑木林ツツジ低木林
	⑦アオマツ・モチツツジ群落
	⑧コナラ群落
	⑨スミレの小路周辺整備林
	⑩常緑樹林
	⑪里山の管理を行ないながら目標植生を検討する区域
	⑫生物生育環境を守ることを目標とする区域
	⑬現況のサクラ

